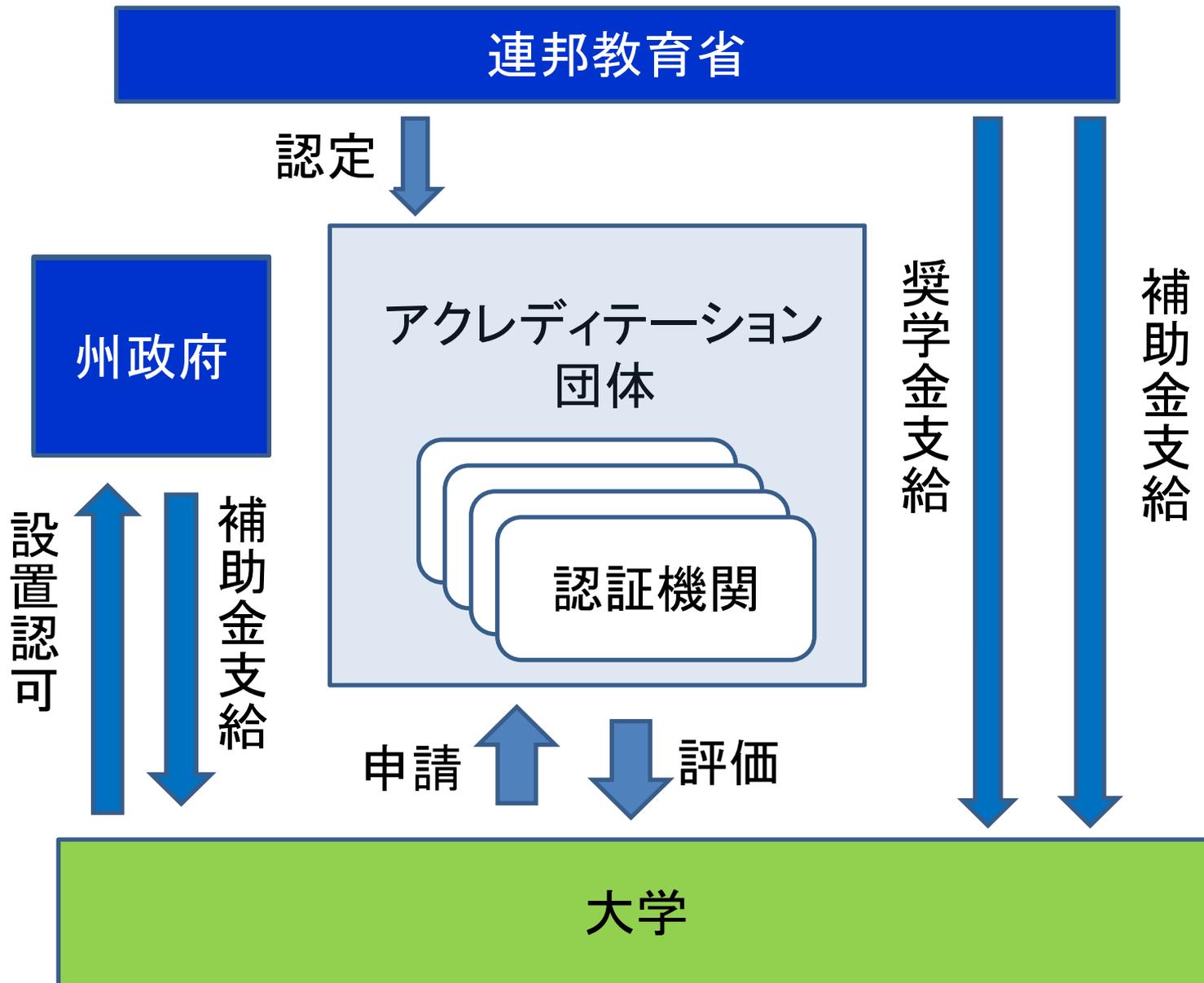


# 「専修学校の教育の保証について」

## 専修学校と第三者評価

静岡福祉大学 名誉教授  
学校法人 上田学園 理事  
平井 利明

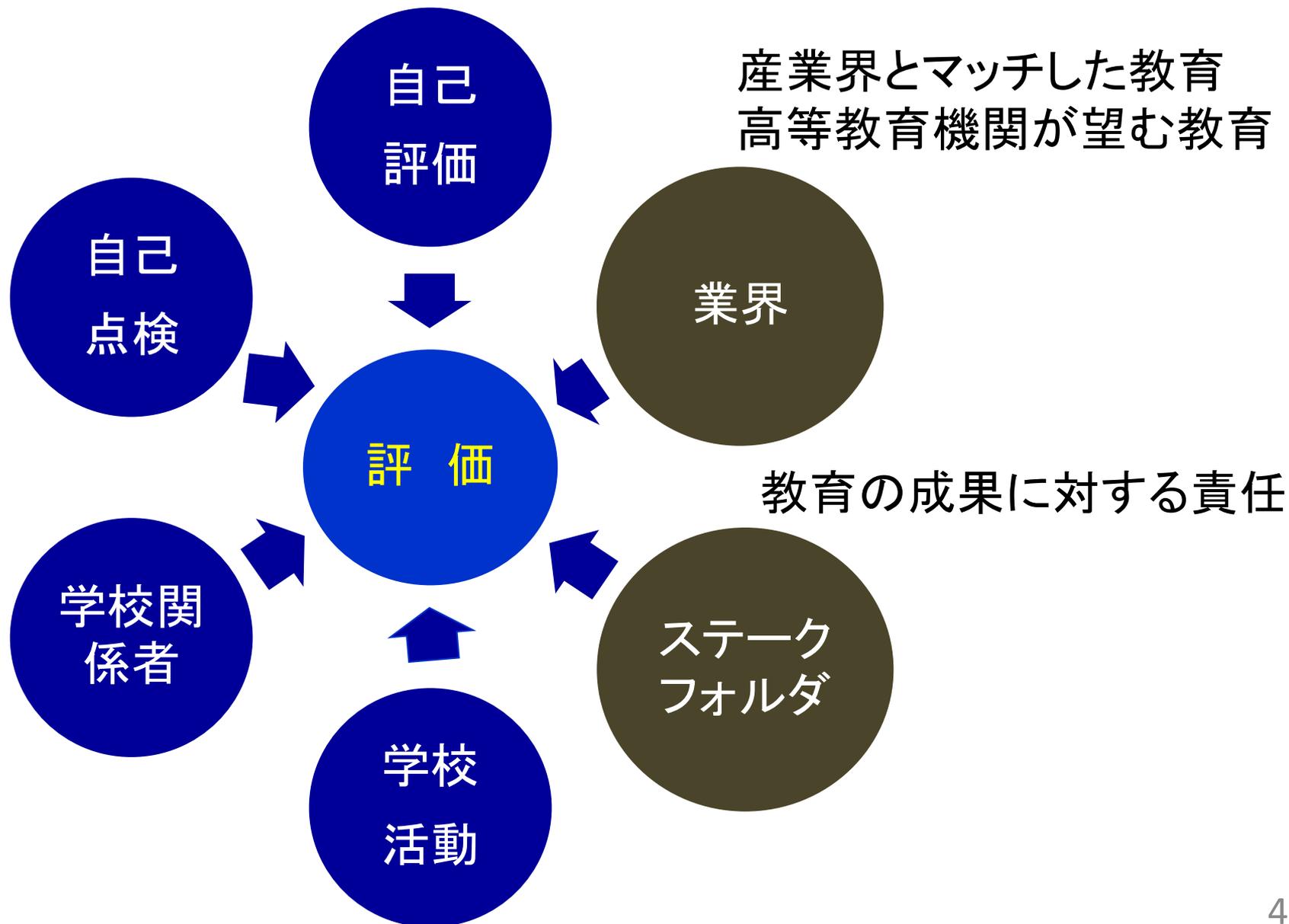
# アメリカにおけるアクレディテーション (教育・研究の質保証制度)



## アクレディテーション(教育・研究の質保証制度)

- 教育の成果に対する責任
  - 産業界とマッチした教育(企業との連携)
- 教育・研究の質保証制度(企業との連携)
- アクレディットされた大学
  - 学生への奨学金
  - 教員への研究費等の補助金
- 州政府のアクレディテーションに関する考え方  
アクレディテーションの有無
  - 大学の設置認可に便宜
  - 補助金支給等に便宜

# 第三者評価機関・外部評価機関の重み(干渉)



## その1

企業等が参画する「教育課程編成委員会」を設置してカリキュラムを編成している

## その2

企業等と連携して、演習・実習等の授業を実施している

## その3

企業等と連携して、最新の実務や指導力を修得するための教員研修を実施している

## その4

企業等が参画して学校評価を実施している

## その5

学校のカリキュラムや教職員等についてHPで情報提供している

# アクレディテーションのための カリキュラムの基本構成(基礎教育の必要性)

基礎教育の重要性  
産業界ニーズの把握

産業界

専門教育

産業界要請カリキュラム

学校カリキュラム

リベラルアーツ

一般教養(自然・人文・社会科学等)

誰もが身に付けるべき基礎教養的科目

他  
専  
門  
学  
校

他  
大  
学

# インストラクショナル デザイン

アメリカ サンノゼ パロアルト

## 教育プロダクト

企画 設計 実施 評価する方法

### ●インストラクショナル デザイナ (当時の言葉)

- Learning Effectiveness (教育効果)
- Cost Effectiveness (コスト効果)

### ●インストラクショナル マネージャ

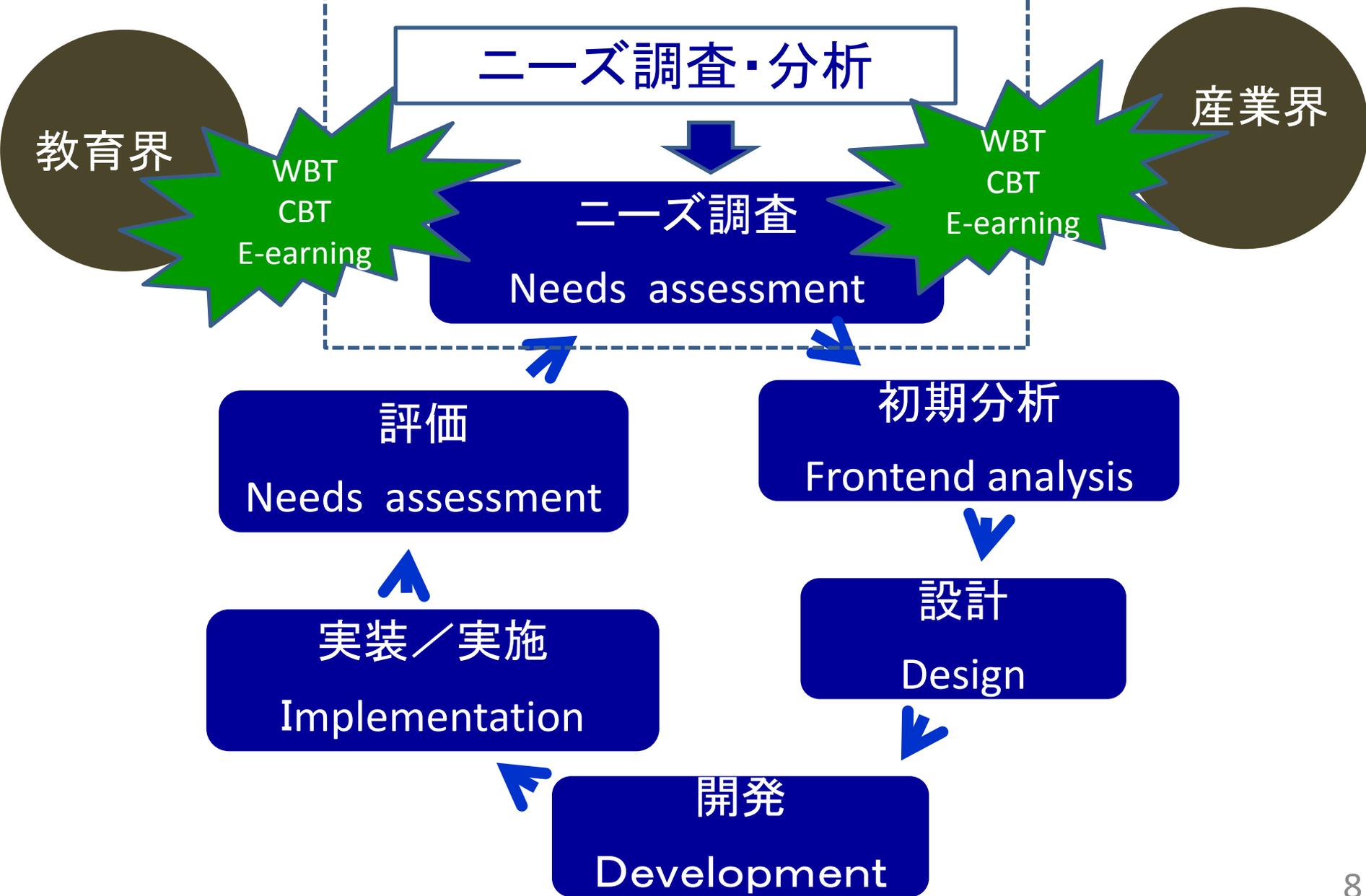
インストラクショナル デザインの効果

教育の質の向上  
教育の質の維持  
教育費用の削減

芽生え

WBT  
CBT  
E-learning

# インストラクショナル デザイン 質の向上



# 学校評価ガイドランによる第三者評価

## 文部科学省平成20年1月

### 学校と直接関係を有しない専門家による客観的な評価

- ・学習指導や学習のマネジメント等について専門性を有する者による専門的な視点からの評価
- ・各学校と直接関係を有しない立場からの評価

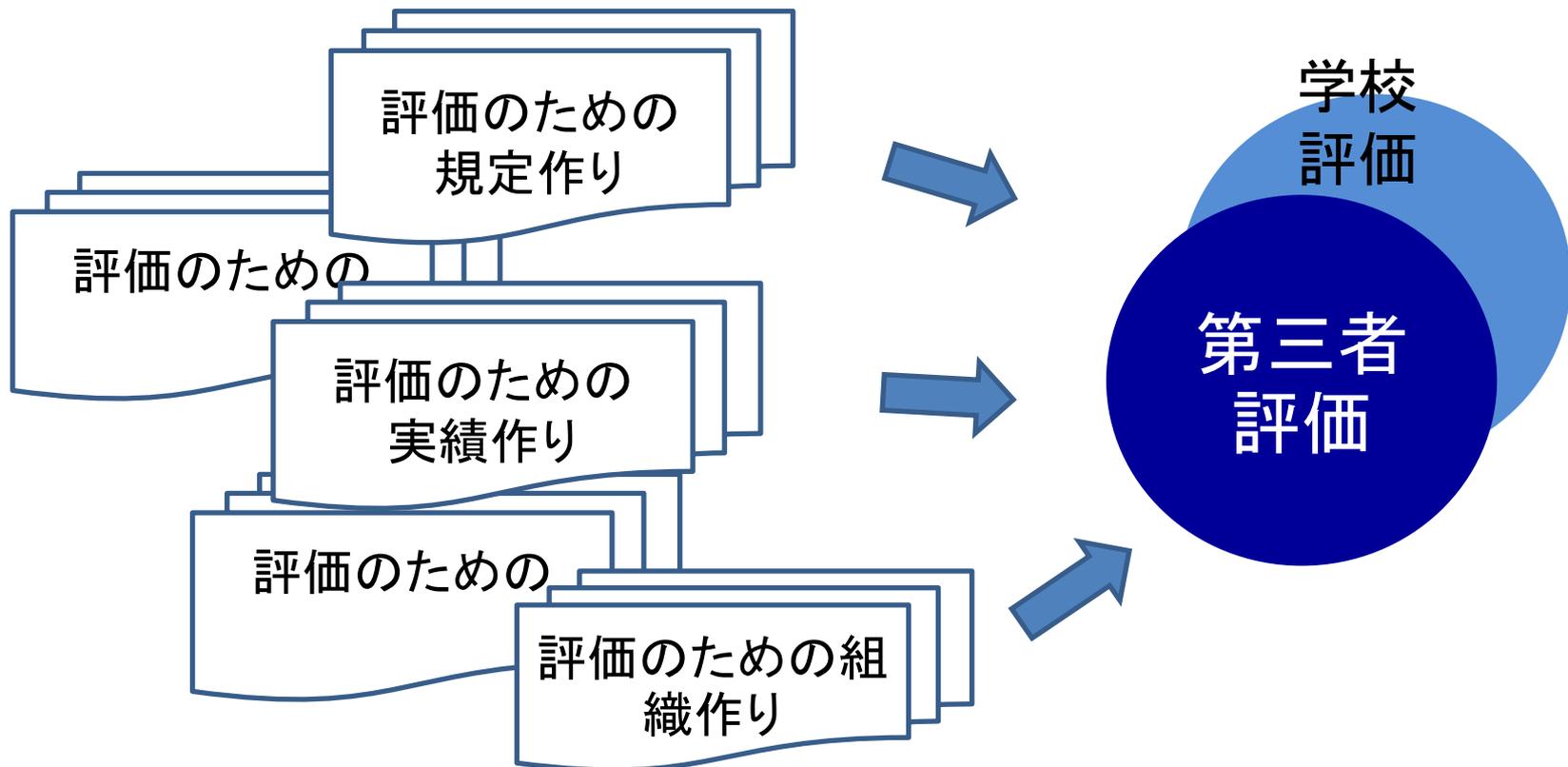


- ・学校を客観的に見る
- ・学校の優れた取組みの明確化
- ・学校の課題と改善方策の明確化
- ・具体的な学校運営の改善
- ・学校の活性化
- ・学校運営の適切性の確認
- ・信頼される学校作り

# 学校評価の在り方

学校評価実施そのものを自己目的化しない

学校の教育水準の向上  
学校の質の保証



# 「専修学校における学校評価ガイドライン」

(平成25年3月生涯学習政策局:文部科学省)

実践的な職業教育機関としての専修学校が、社会全体の信頼を得ていくための推進事項

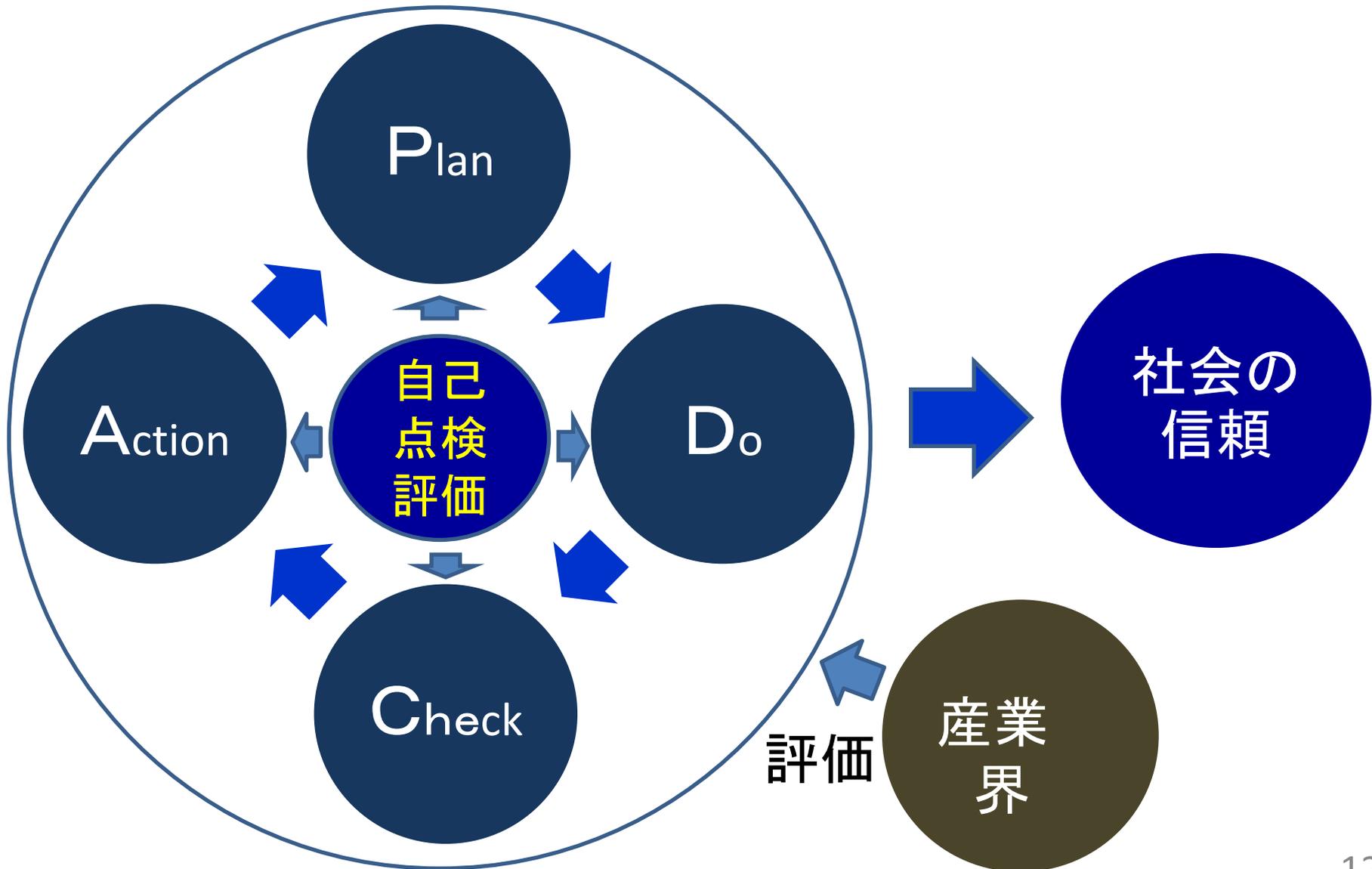
- ①教育の質の改善
- ②社会に対する説明責任
- ③学校評価を通じたガバナンス改善に向けた自主的な取り組み

組織改善のためにPDCAサイクルの中に位置づけるもの

- ・関係業界等からのニーズを踏まえた教育活動等の評価
- ・教育活動等の情報公開

# PDCAサイクルの中で自己点検・評価の推進

## PDCAサイクルの中で自己点検・評価結果を活かす



## 第三者評価の視点

「専修学校における学校評価ガイドライン」(平成25年3月生涯学習政策局:文部科学省)

- ① 関連業界等のニーズを踏まえた質の高い職業教育を享受できるよう学校運営の改善と専修学校教育の発展を目指す。
- ② 実践的な職業教育機関として、職業に必要な知識・技能・態度に係る質の保証、目標の達成状況にも着目アウトカム評価も取り入れる。
- ③ 実践的な職業教育機関として、関連業界等との連携により、必要な人材養成の実現を目標として、「教育目標」・「教育方法・内容」・「ガバナンス」を3つの柱とする。
- ④ 実践的な職業教育機関として、関連業界等へ学校評価結果の公表・説明を行うとともに学校評価活動への参画を得る。

## 第三者評価の意義

1 教育の質の保証や質の向上

2 学校運営の質

3 ガバナンス

- (1) 学校経営や学校教育の透明性、健全性の確保
- (2) 法に従い行動する遵法性の確保
- (3) 学校関係者、業界、保護者などステークホルダーへのアカウンタビリティ（説明責任）
- (4) 迅速かつ適切な情報公開
- (5) 経営者並びに各層の経営管理者の責任の明確化
- (6) 学校内部統制の確立

## 第三者評価の目的

- ① 各専門学校が行う自己点検・評価の結果分析結果を踏まえ、専門学校第三者評価機関が定める評価基準に基づき総合的な評価をすること。
- ② 各専門学校が自己点検・評価の結果分析結果を行うことで、各専門学校の総合的な質の保証を評価すること。
- ③ 専門学校第三者評価機関が定める評価基準に基づいた総合的な評価を社会に示すことで、広く社会の支持を得ることができるようになること。

## 第三者評価の目的

- ④ 各専門学校が自由度の高い特色ある実践的な職業教育にかかる活動等を評価することで、質の高い教育が享受できることを社会に示すこと。
- ⑤ 各専門学校が、関係業界等のニーズを踏まえた質の高い職業教育を実践していることを関係業界へ説明責任を果たし、実証することで、専門学校教育の発展を目指した学校評価を行うこと。

# 自己点検・評価の評価尺度の位置付け

第三者評価以上に自己点検評価がなされている



第三者評価に届かない自己点検評価



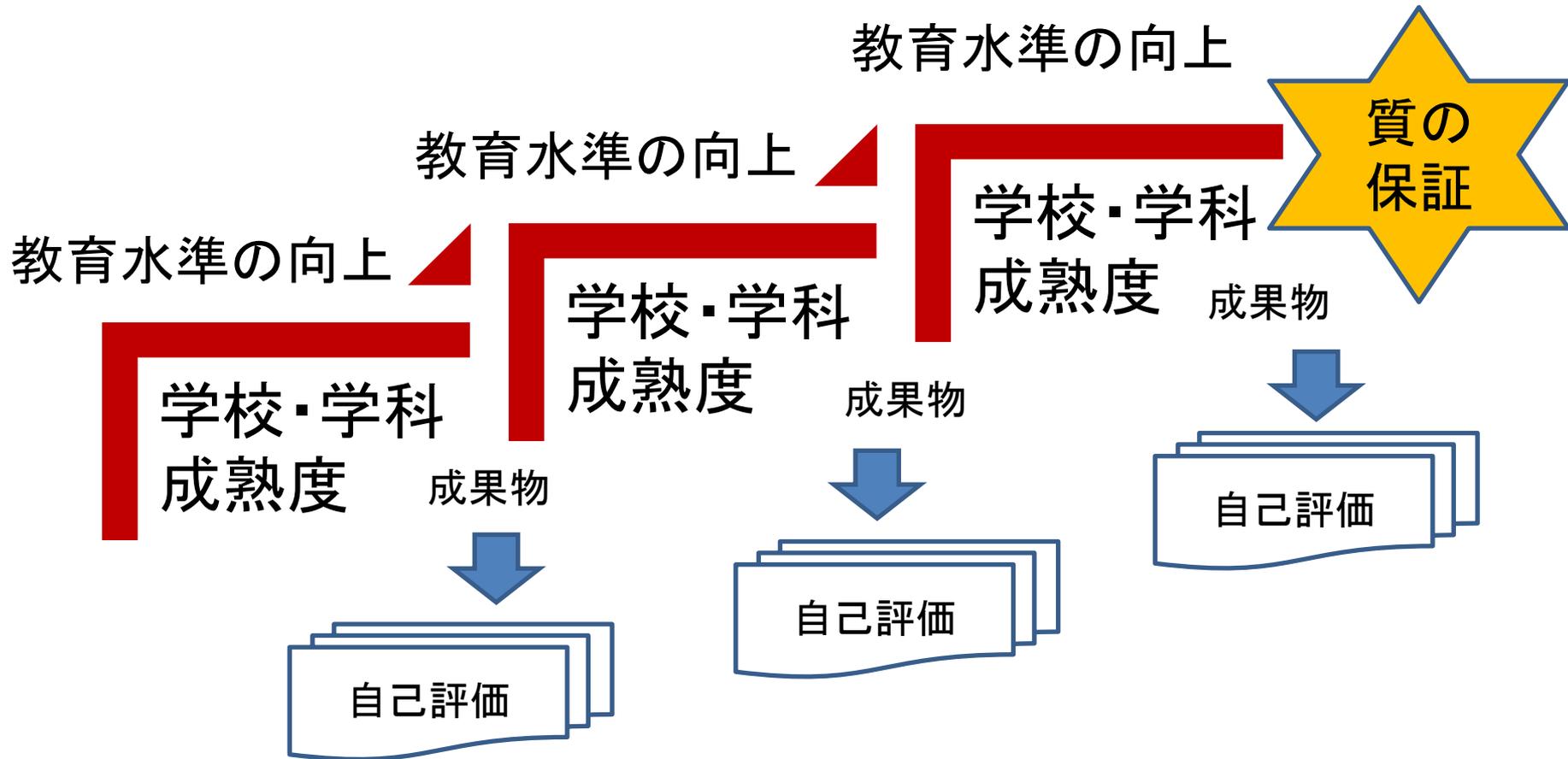
第三者評価と自己点検評価が一致



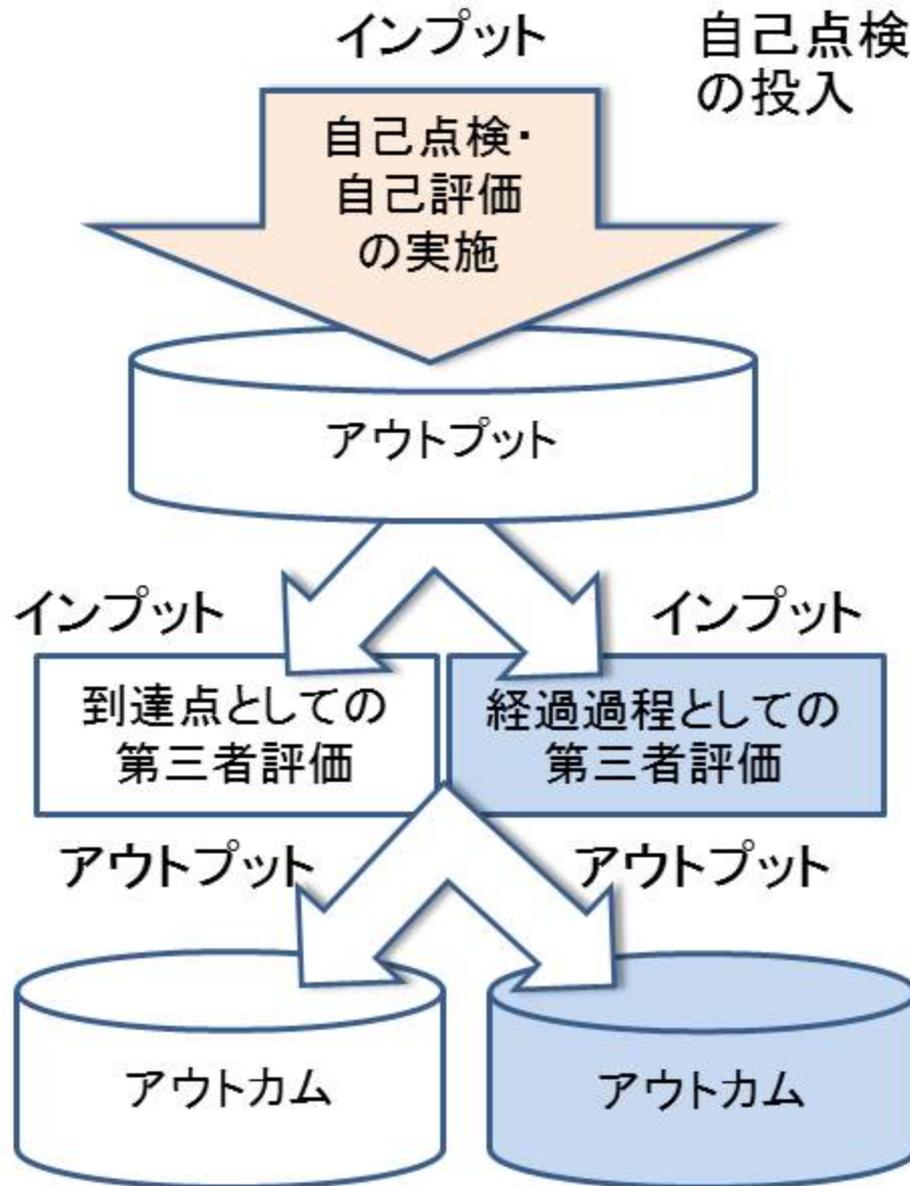
評価尺度により行動が異なる

# 目的の達成に向けて

成熟度に応じて自己評価をステップアップ  
第三者評価に向けてステップアップ



# アウトカムが学校経営・教育の質に貢献



自己点検・自己評価ガイドラインによる情報資源の投入

自己点検・  
自己評価  
の実施

アウトプット

インプット

到達点としての  
第三者評価

アウトプット

アウトカム

インプット

経過過程としての  
第三者評価

アウトプット

アウトカム

自己点検・自己評価によって得られた  
成果(評価) **自己評価報告書**

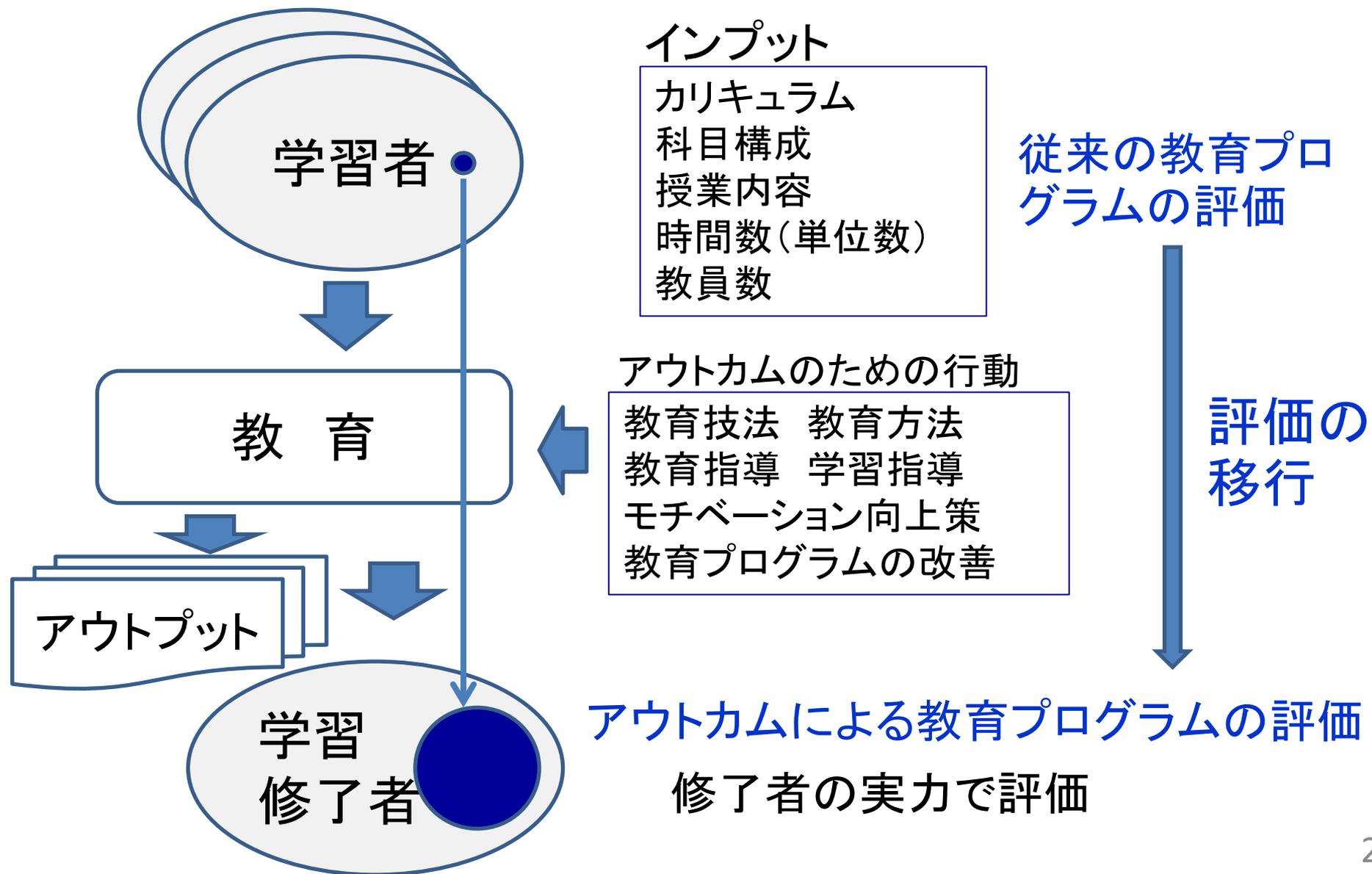
第三者評価の評価基準による  
自己点検・自己評価資源の投入

それぞれの学校環境による  
第三者評価の評価基準または評価  
項目の選択

それぞれの学校環境による第三者  
評価の成果に含まれる価値  
価値の創造 付加価値の強化  
**学修者の質評価**

# アウトカムが学校経営・教育の質に貢献

## 教育プログラムの評価をどうとらえるか



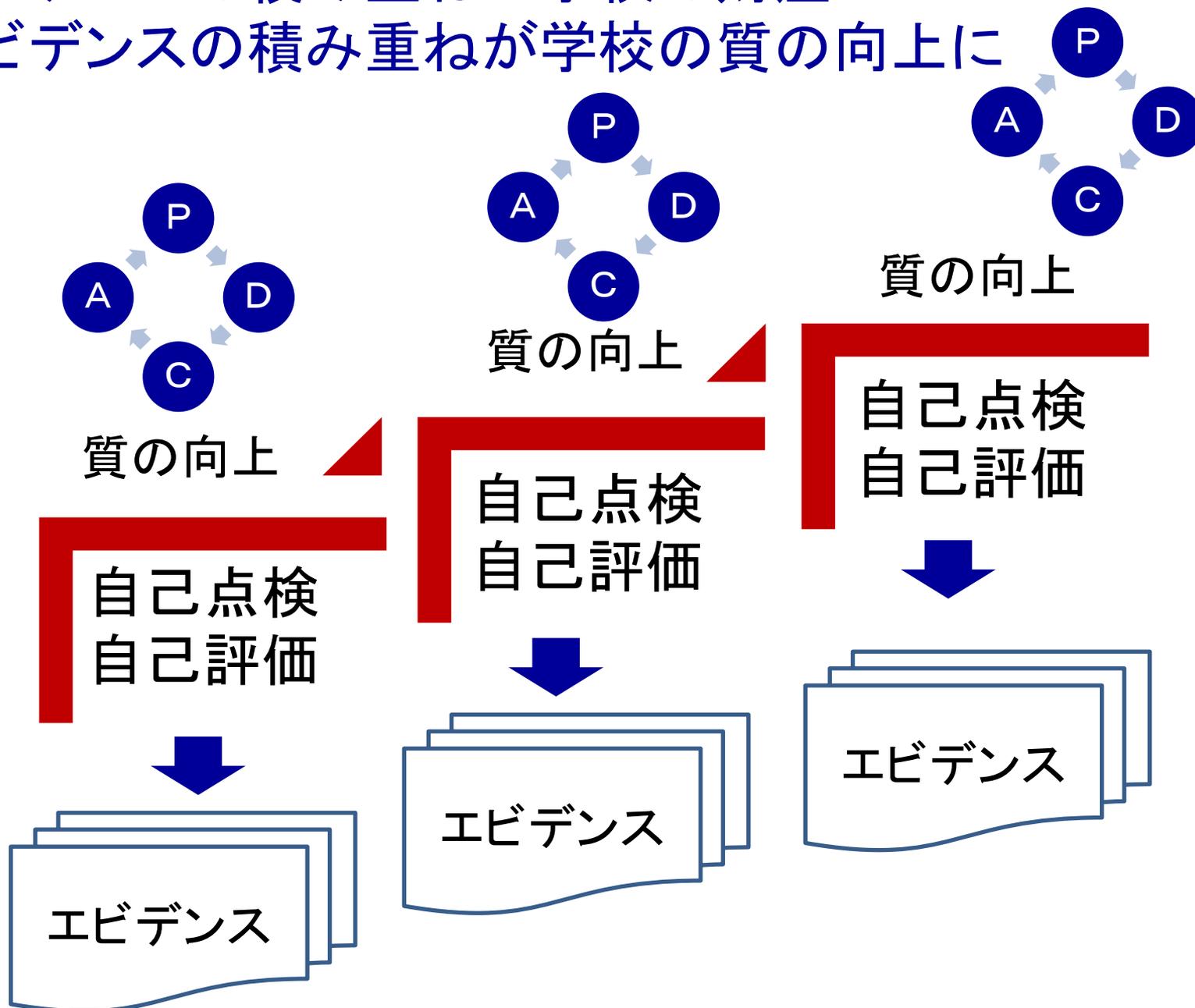
# アウトカムのための教育の変化の必要性

- 学習者中心教育の考え方への移行  
(これまで:「教員の視点に立った教育」)
- 何ができるようになったかの評価  
(これまで:「何を教えるか」)
- 教育の質と学習成果  
(これまで:カリキュラムの消化)
- より評価に重点を置いた教育  
(これまで:狭い評価基準)

## 第三者評価の期待

- 学校が自らの教育活動や学校運営状況を客観的に見ることで、学校運営の改善をより確実に進めていくことができる
- 課題に対する改善方策を明確にできること。
- 学校評価によって、学校運営や教育活動が適切に行われていることの確認ができること。
- 課題の改善等を行うことでより信頼される学校作りができること。
- 質の高い教育水準を維持できこと。

# エビデンスの積み重ねが学校の財産に エビデンスの積み重ねが学校の質の向上に



# 専修学校の評価項目・指標等による評価基準

	評価項目・指標
1	教育理念・目的・人材育成像
2	学校運営
3	教育活動
4	生徒指導等
5	特別活動等
6	学修成果
7	生徒支援
8	教育環境
9	生徒の受入れ募集
10	財務
11	法令等の遵守
12	社会貢献・地域貢献

# 専修学校の評価項目・指標等による評価基準 ＋ 情報社会に必要な評価基準

13	構成管理
13-1	ハードウェア構成管理
13-2	ソフトウェア構成管理
13-3	ネットワーク構成管理
13-4	インシデント管理
13-5	ライセンス管理